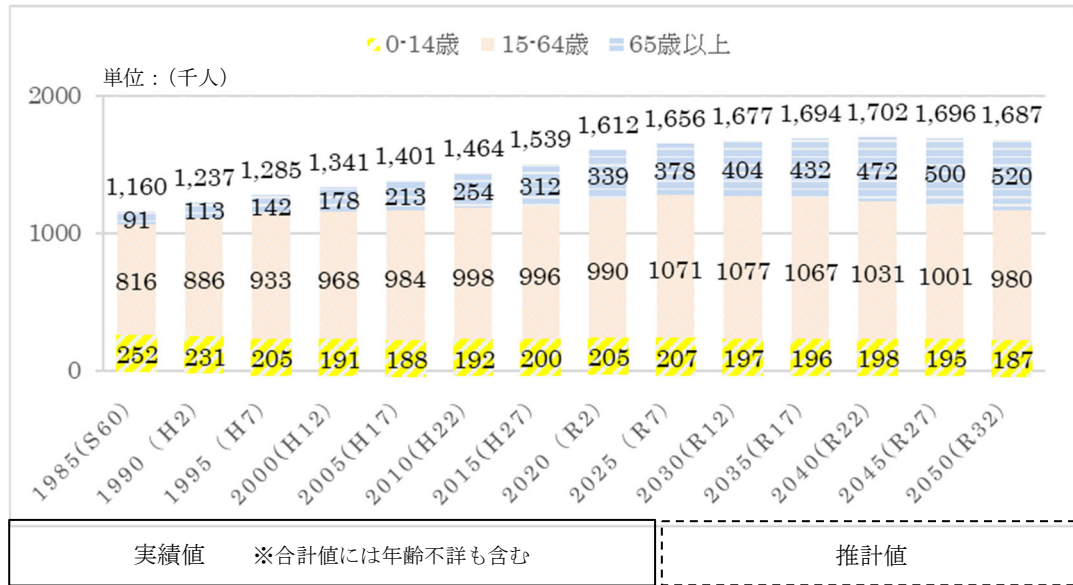


Ⅲ データで見る福岡市の男女共同参画

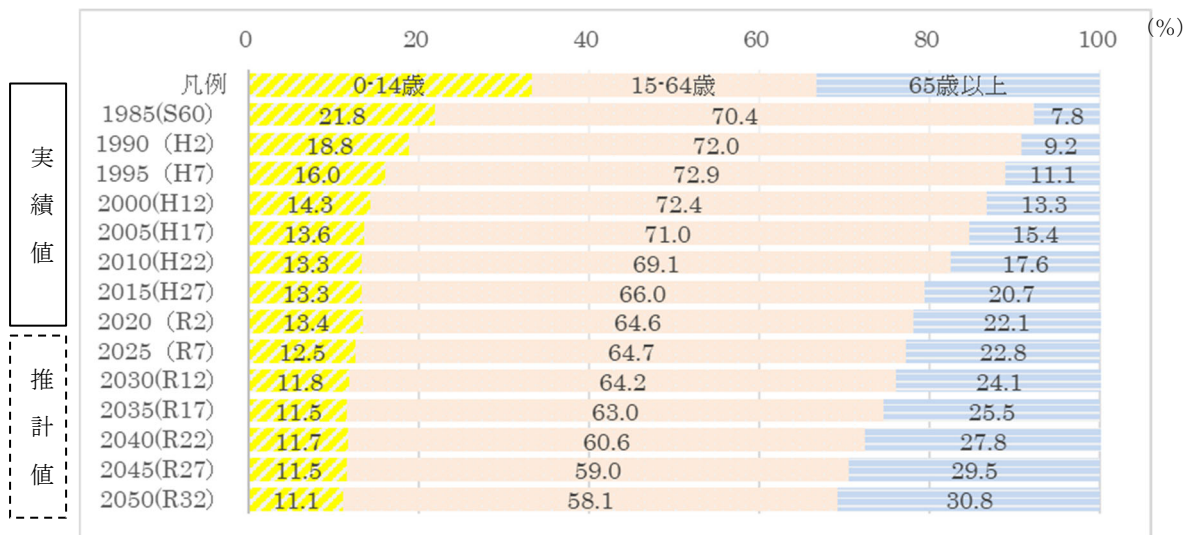
福岡市の現状

○ 福岡市の人口推移と将来人口推計（1985 年～2050 年）



資料:総務省 令和2年国勢調査、福岡市総務企画局「福岡市の将来人口推計」(令和6年4月)

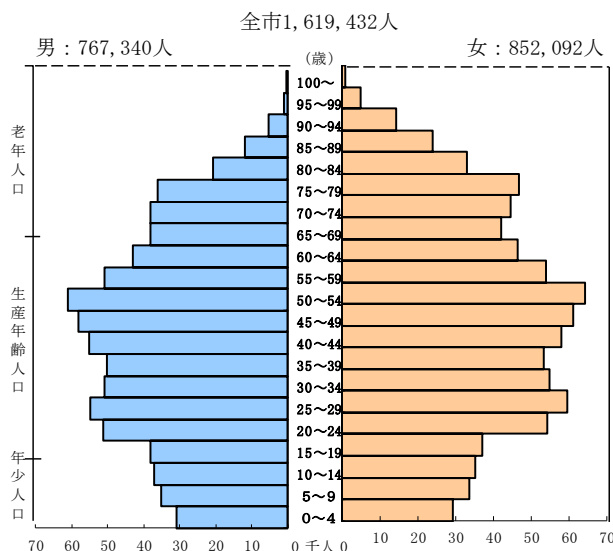
○ 福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化(1985 年～2050 年)



※年齢不詳を除く 資料:総務省 令和2年国勢調査、福岡市総務企画局「福岡市の将来人口推計」(令和6年4月)

○ 人口構成ピラミッド（男女・年齢構成 福岡市）年齢別階層構成

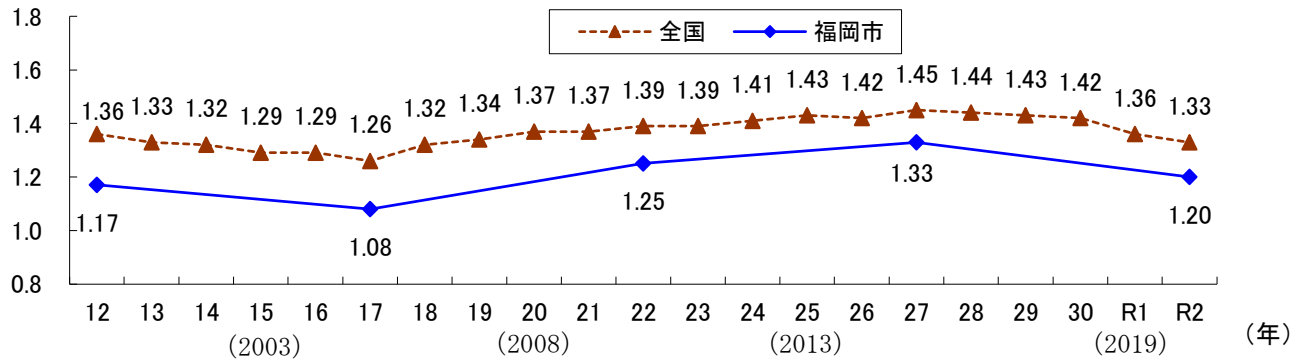
—令和7年9月30日現在、住民基本台帳—



資料:総務企画局統計調査課

福岡市の現状

○ 合計特殊出生率の推移



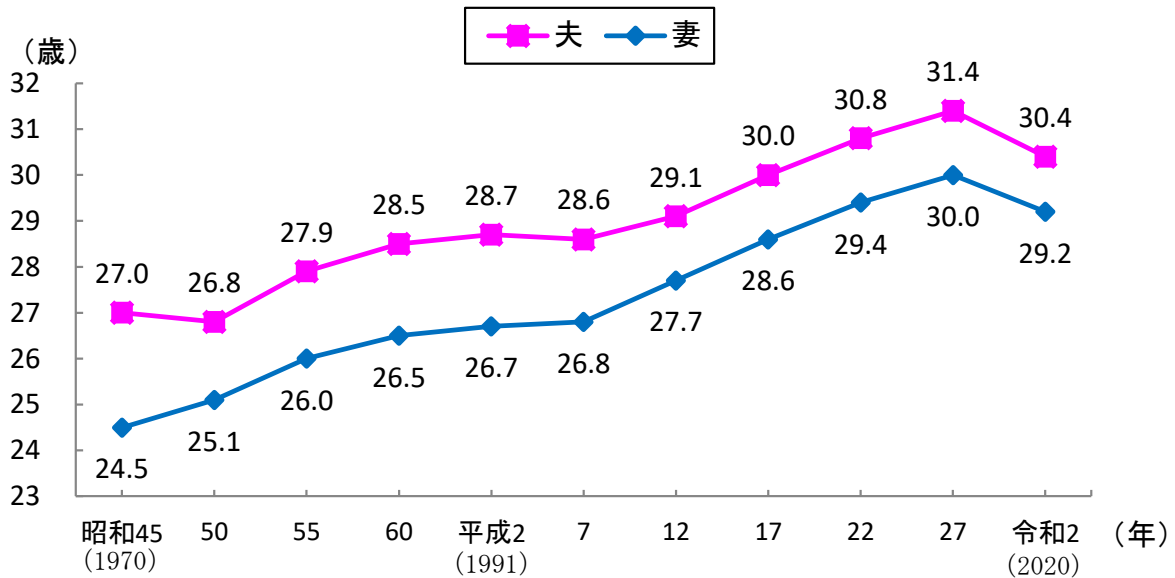
合計特殊出生率:15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当

※現人口を維持するのに必要な水準は 2.07

※福岡市は、国勢調査結果に基づいて算出

資料:厚生労働省 令和2年人口動態統計

○ 平均初婚年齢の推移 (福岡市)

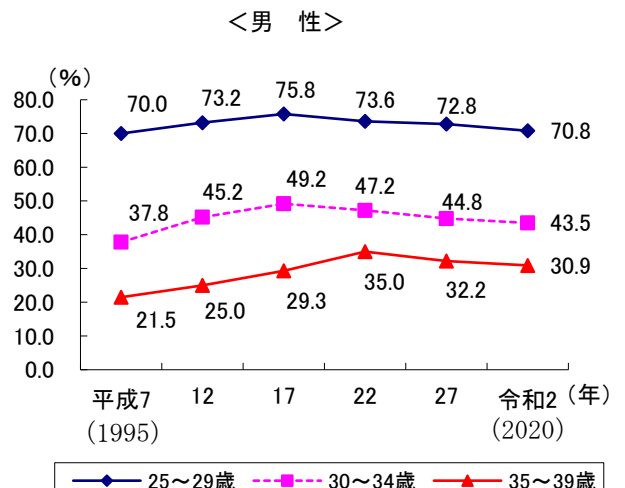
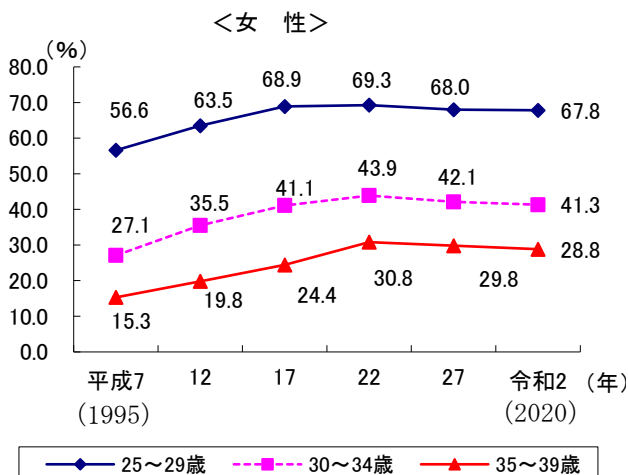


※現人口を維持するのに必要な水準は 2.07

※福岡市は、国勢調査結果に基づいて算出

資料:厚生労働省 令和2年人口動態統計

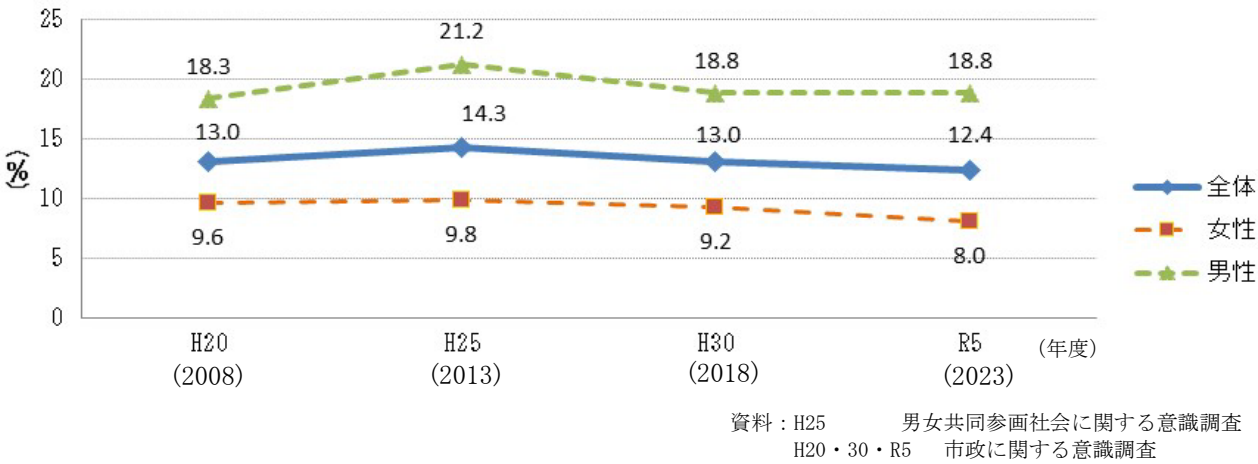
○ 未婚率の推移 (福岡市)



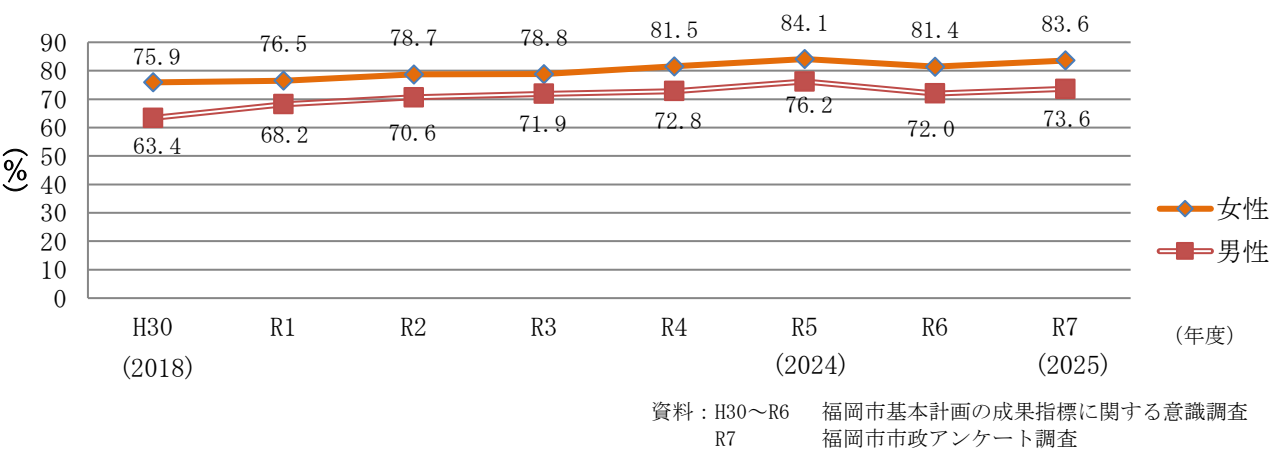
基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

固定的な役割分担意識の解消度は、女性は目標値を達成した。
「みんなで参画ウィーク」の取組みを実施した校区数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時減少した後、回復傾向にある。

○社会全体で見た場合の男女の地位の平等感
(平等と回答した人の割合)



○男女の固定的な役割分担意識の解消度



○「みんなで参画ウィーク」の取組みを実施した校区数

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
126校区	121校区	140校区	137校区	128校区	131校区

資料：市民局男女共同参画課

○「みんなで参画ウィーク」の取組みを実施した校区数(のぼり旗設置のみを除く)

4年度	5年度	6年度	7年度
121校区	118校区	113校区	123校区

資料：市民局男女共同参画課

基本目標2 あらゆる暴力が根絶されるとともに、誰もが安心して暮らせる社会

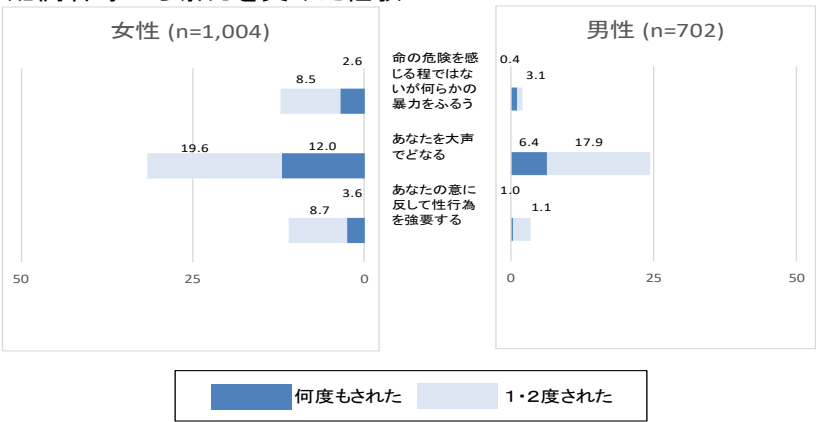
令和5年度市政に関する意識調査によると、配偶者等から受けた暴力の種類では「あなたを大声でどなる」などの精神的な暴力を受けた経験がある人の割合が最も高く、暴力を受けた際に我慢した人の割合は半数近くにのぼっていた。

○ DV相談件数の推移

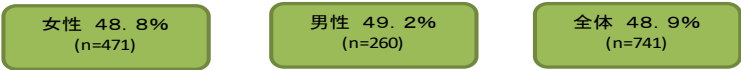
	男女共同参画推進 センター・アミカス	区役所（保健 福祉センター）	配偶者暴力相談 支援センター	合計
3 年度	582	3,224	389	4,195
4 年度	557	2,422	336	3,315
5 年度	611	3,259	360	4,230
6 年度	598	2,770	291	3,659
7 年度	663	3,209	369	4,241

資料：市民局男女共同参画課、事業推進課、こども未来局こども家庭課

○配偶者等から暴力を受けた経験

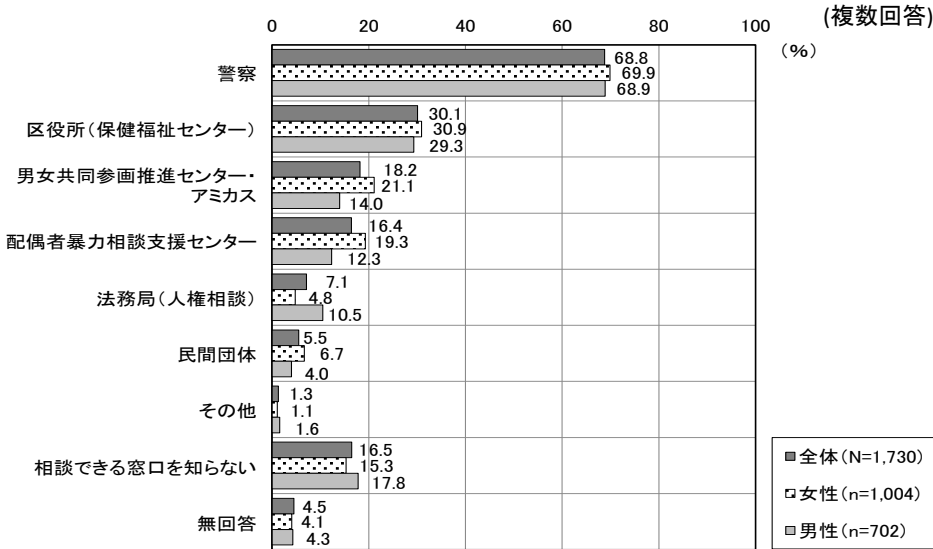


○配偶者から暴力を受けた際に実際に我慢した人の割合



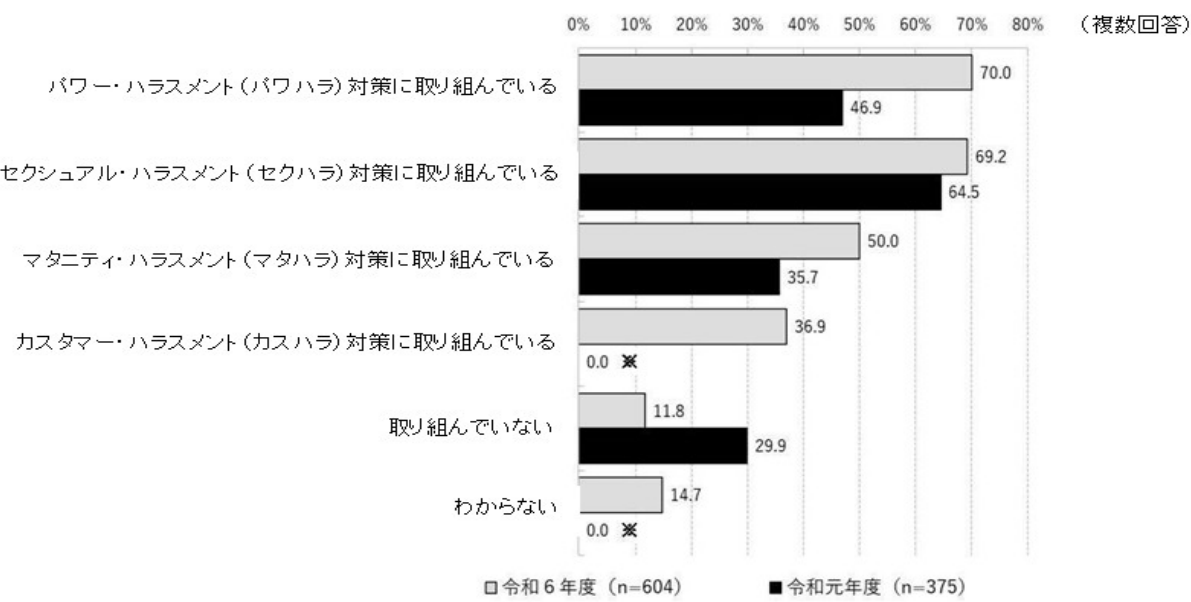
資料：令和5年度市政に関する意識調査

○恋人、配偶者、パートナーからの暴力について相談できる窓口の認知度



資料：令和5年度市政に関する意識調査

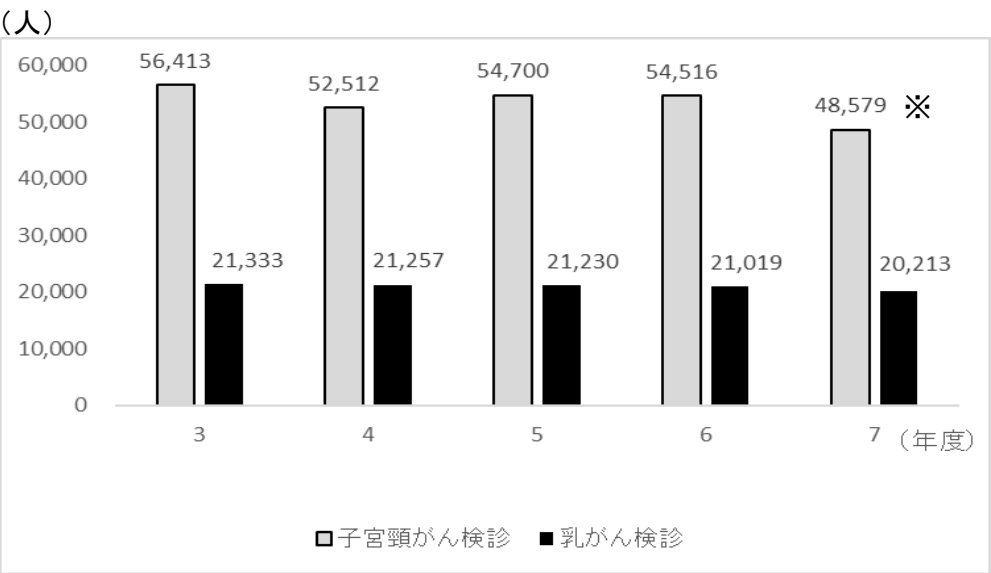
○ ハラスメント対策への取組み<事業所>



※「カスタマー・ハラスメント (カスハラ) 対策に取り組んでいる」「わからない」は新設項目

資料：令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

○ 子宮頸がん・乳がん検診の受診者数の推移

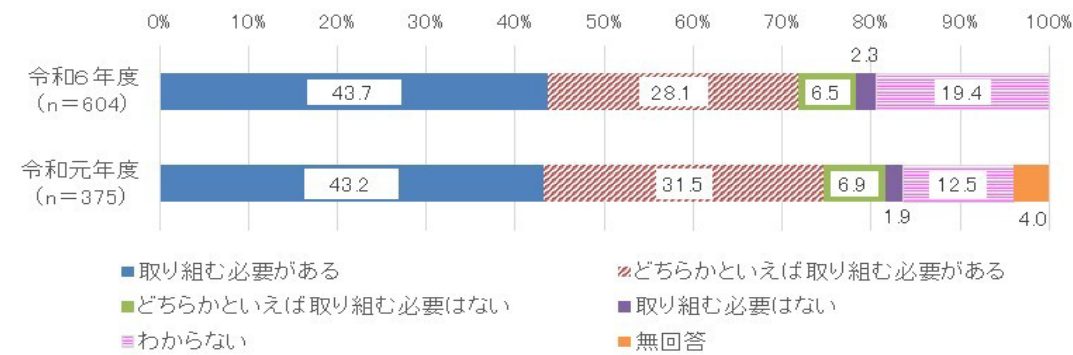


※妊婦健康診査の子宮頸がん検診を除く 資料：保健医療局地域保健課

基本目標3 仕事と生活の調和が実現した社会

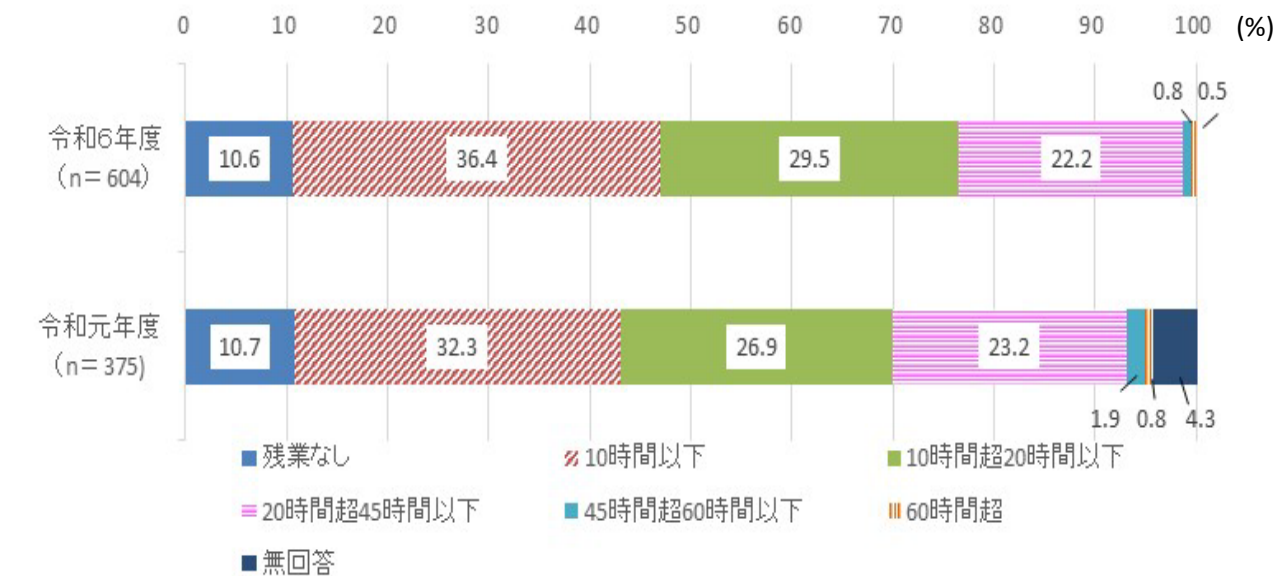
事業所において、ワーク・ライフ・バランスに取り組む必要性を肯定する意見が前回同様7割を超えた。1か月の平均残業時間は20時間以下が約8割に達し、年次有給休暇取得率は60%以上が約5割まで増加している。また、男性の育児休業取得率は大幅に増加している。

○ワーク・ライフ・バランス推進の必要性の認識度＜事業所＞



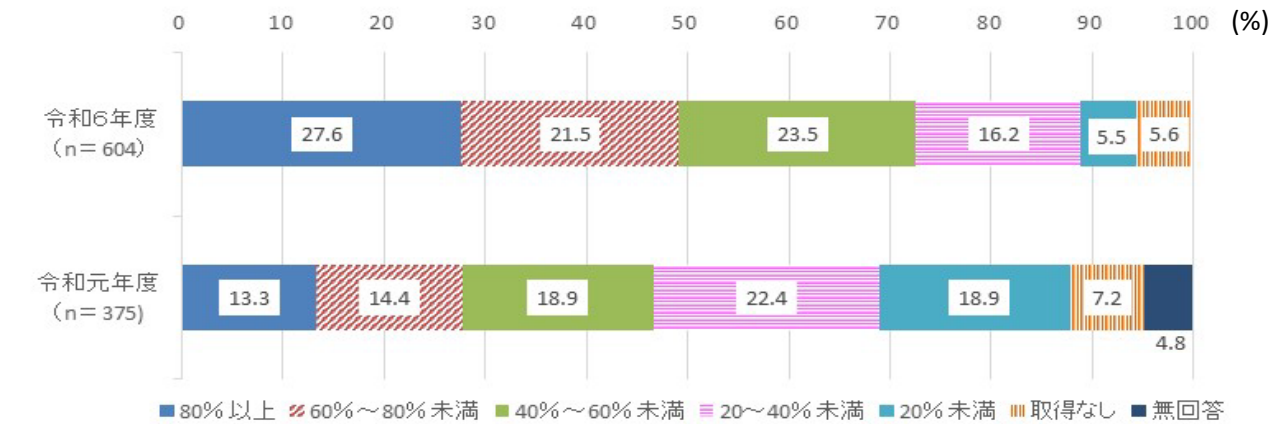
資料: 令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

○ 正社員の1か月の平均残業時間＜事業所＞



資料: 令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

○ 正社員の年次有給休暇取得率＜事業所＞



資料: 令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

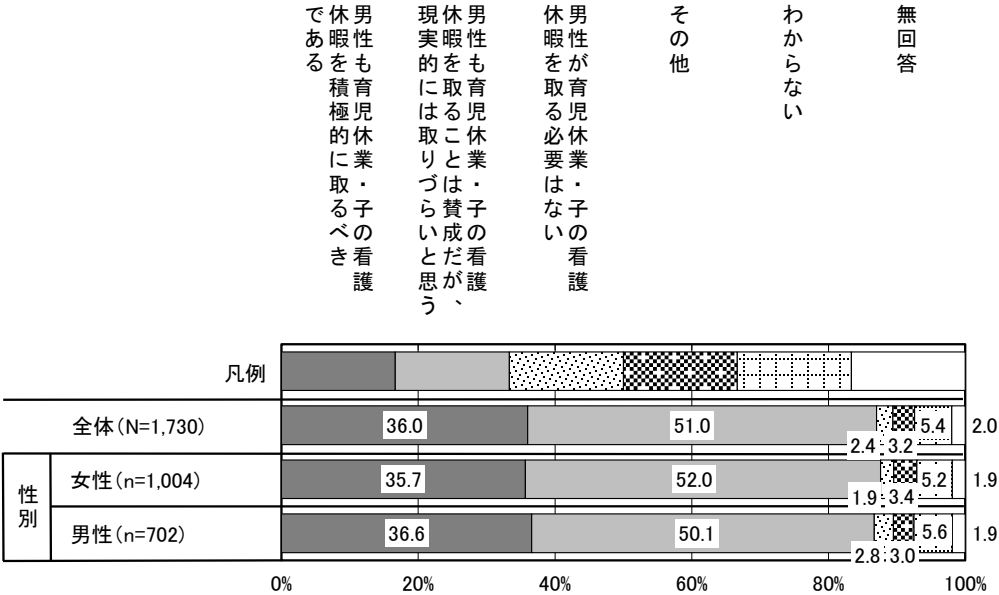
基本目標3 仕事と生活の調和が実現した社会

○ 男性の育児休業取得率＜事業所＞



資料：
令和元年度福岡市女性活躍推進に
関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所に
おける労働実態調査

○ 男性が育児休業や子の看護休暇を取得することについて



資料：令和5年度市政に関する意識調査

○ 保育所の推移

各年4月1日現在

年度	施設数	定員	入所人員（人）			待機児童数（人）
		（人）	総数	3歳未満	3歳以上	
4年度	471	42,475	39,049	16,853	22,196	1
5年度	471	42,054	39,242	16,862	22,380	0
6年度	477	42,000	39,762	17,292	22,470	0
7年度	477	42,104	39,521	17,149	22,372	4
8年度	485	42,431	39,367	17,262	22,105	1

資料：こども未来局運営支援課

○ 社会貢献優良企業優遇制度

認定企業数	3年度	203
	4年度	194
	5年度	223
	6年度	233
	7年度	235

資料：市民局女性活躍推進課

○ ふくおか女性活躍NEXT企業

掲載企業数	3年度	307
	4年度	337
	5年度	362
	6年度	373
	7年度	392

資料：市民局女性活躍推進課

○ “「い～な」ふくおか・子ども週間”
各年3月31日現在

賛同企業数・団体登録数	3年度末	1,158
	4年度末	1,191
	5年度末	1,220
	6年度末	1,246
	7年度末	1,270

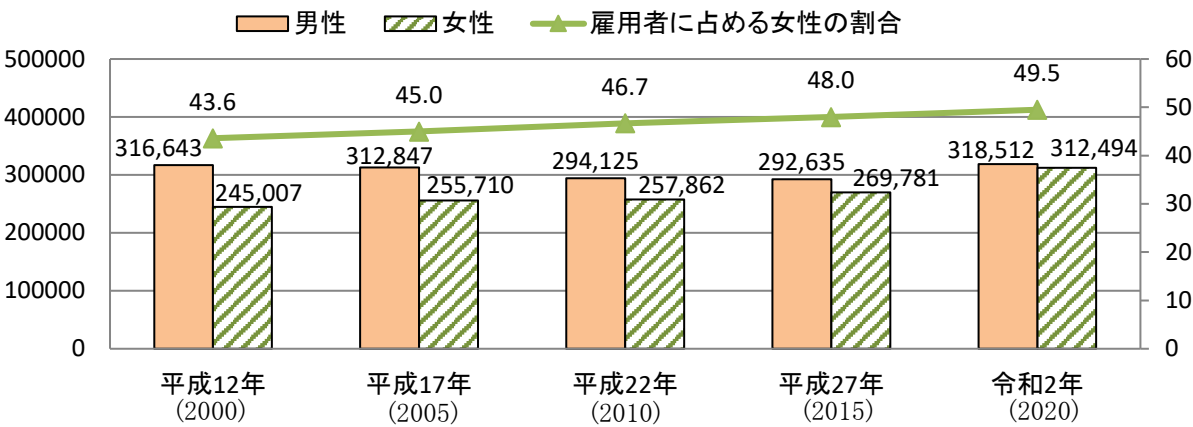
資料：こども未来局こども政策課

基本目標4 働く場において女性が能力を発揮して活躍できる社会

雇用者に占める女性の割合や、女性活躍推進への取組みを進めている事業所、昇進意向のある女性の割合は着実に増加しているが、女性管理職比率は微増に留まっている。

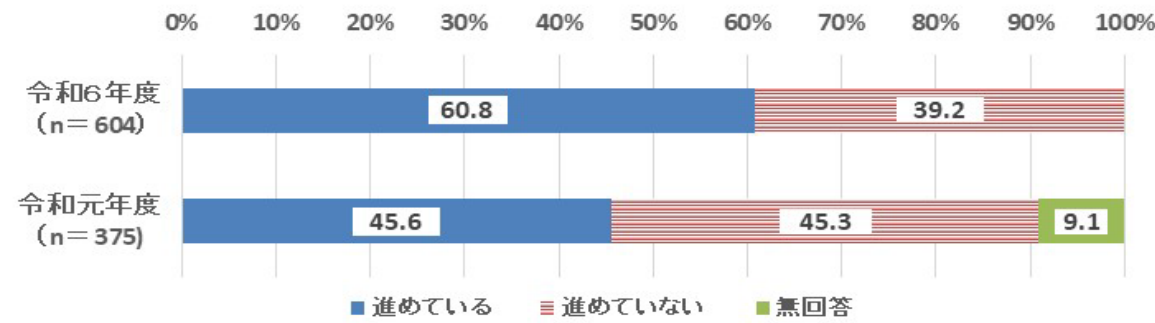
女性が職業を持つことについては、「ずっと職業を持っている方がよい」との回答は、女性は56.7%、男性は48.3%と男女で意識の違いがある。

○ 雇用者に占める女性の人数と割合の推移



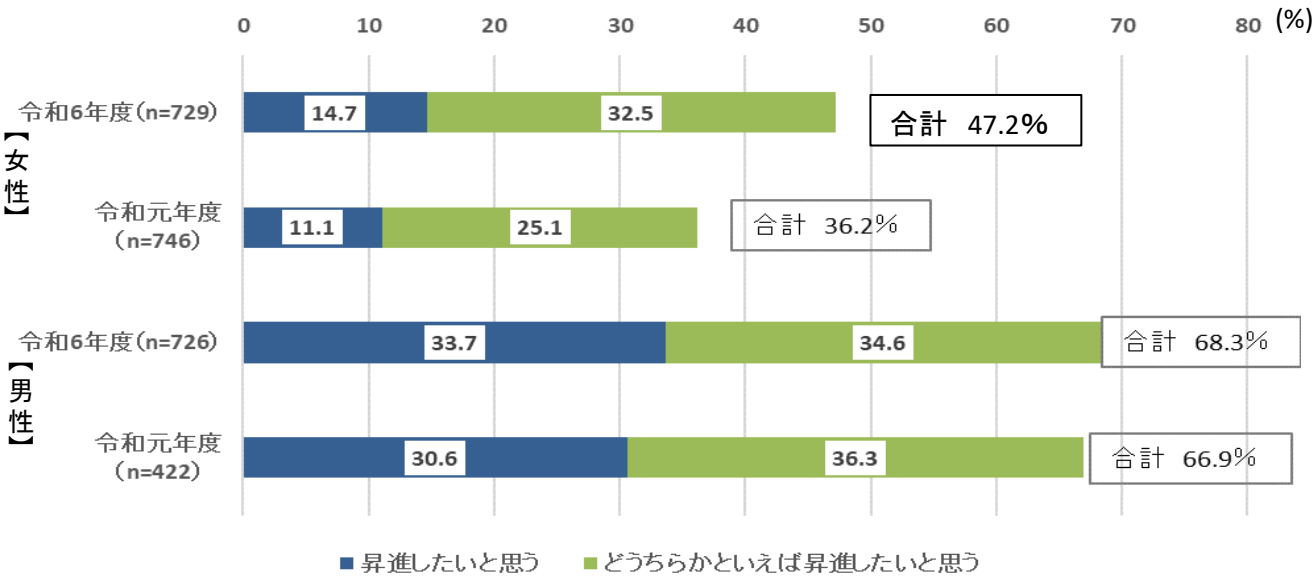
○ 女性活躍推進への取組み状況＜事業所＞

資料：総務省 国勢調査



資料：令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

○ 昇進意向＜正社員＞



資料：令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

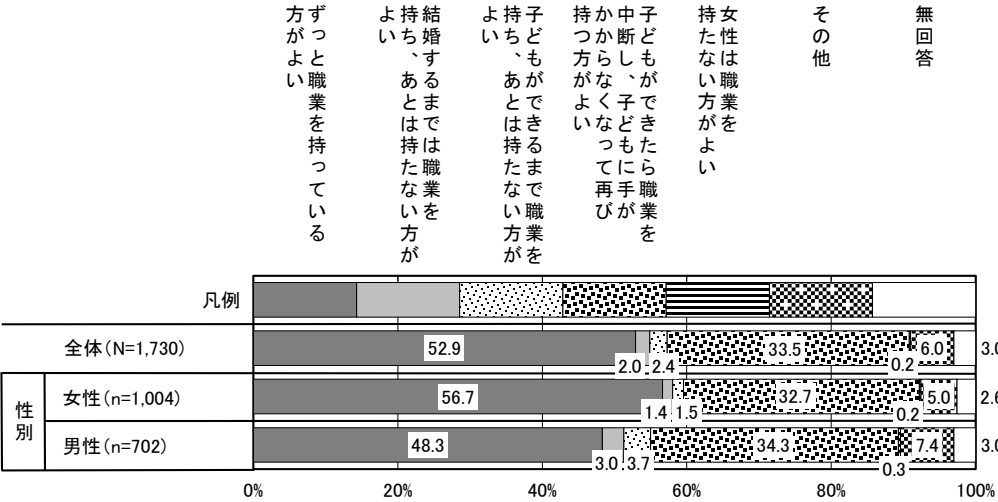
基本目標4 働く場において女性が能力を発揮して活躍できる社会

○ 女性管理職の割合＜事業所＞

	令和6年度	令和元年度
課長相当職以上（役員除く）に占める女性の割合	13. 3%	11. 3%
係長相当職に占める女性の割合	25. 1%	22. 1%
役員に占める女性の割合	17. 0%	17. 2%

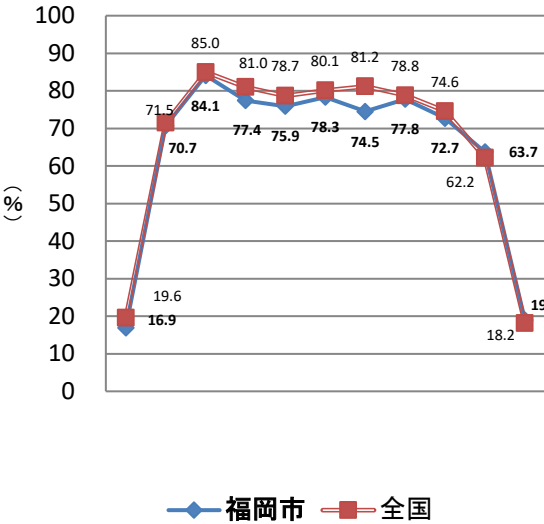
資料: 令和元年度福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
令和6年度福岡市内事業所における労働実態調査

○ 女性が職業を持つことについて



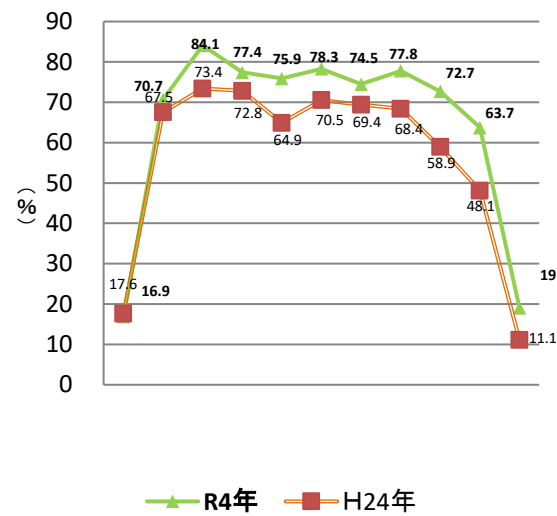
資料：令和5年度市政に関する意識調査

○ 女性の年齢階級別の有業率
（福岡市、全国）



資料：総務省 令和4年就業構造基本調査

○ 女性の年齢階級別の有業率
（福岡市の平成24年と令和4年）



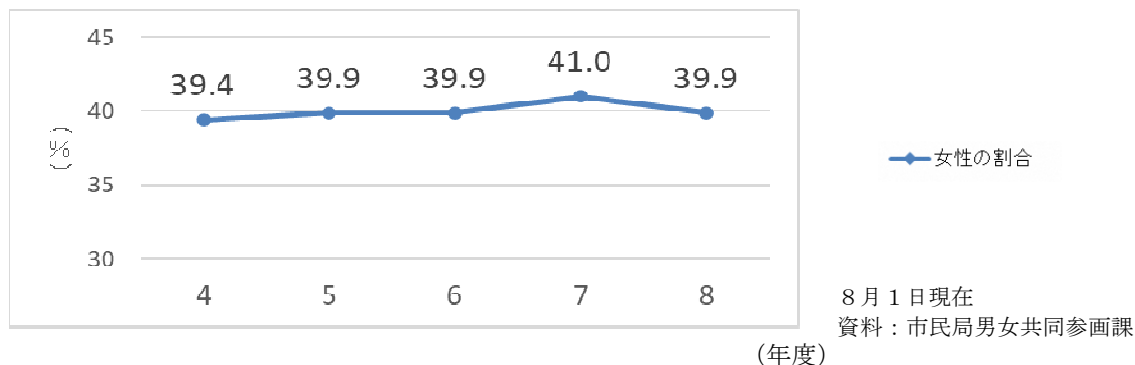
資料：総務省平成24年、令和4年就業構造基本調査

基本目標5 あらゆる意思決定過程に男女が共に参画する多様性に富んだ社会

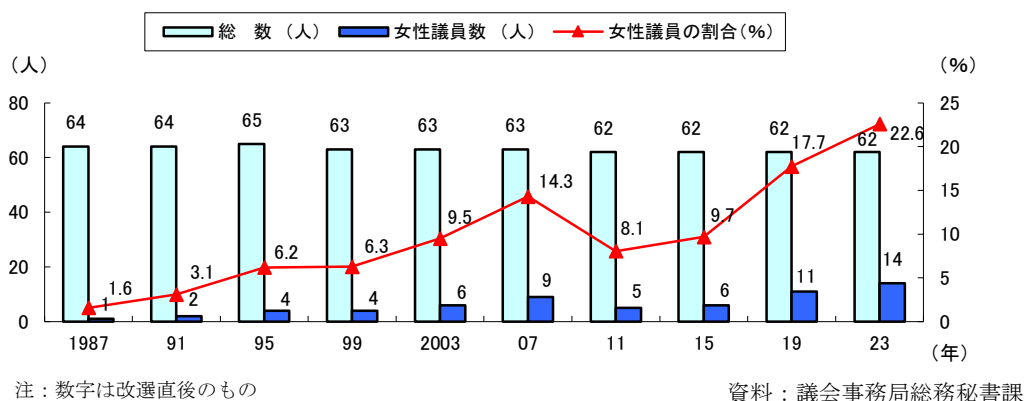
審議会等委員、福岡市職員及び役職者の女性の割合や、地域における諸団体の長への女性の参画割合は、少しずつではあるが増加傾向にある。

市議会議員の女性の割合は、平成23年（2011年）の改選で減少に転じたが、平成31年（2019年）の改選以降は増加傾向にある。

○ 福岡市の審議会等委員への女性の参画状況の推移



○ 福岡市議会議員に占める女性の割合の推移



他の政令指定都市と比較してみると・・・

	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	熊本市	福岡市	政令市
市職員管理職の女性比率 (%)	17.2	21.2	22.7	15.0	21.0	19.0	24.3	22.6	16.2	13.7	13.8	14.1	20.4	22.9	23.0	20.7	19.0	17.4	16.6	19.9 (10位)	19.1
地方議会の女性議員比率 (%)	31.3	25.9	26.7	22.0	25.9	26.7	21.7	16.0	6.4	31.1	27.9	26.9	25.9	14.9	26.2	15.2	21.2	21.8	12.8	22.6 (11位)	23.1
審議会等の女性委員比率 (%)	33.4	38.0	36.5	36.2	42.6	35.1	35.6	42.7	31.1	36.1	35.3	35.5	36.4	45.0	34.0	45.6	32.1	49.6	33.0	41.0 (6位)	37.2

市職員管理職の女性比率：調査時点は令和7年4月1日現在の自治体が多いが、時点が違うところもある。

※ 本調査で対象としている公務員は、各政令指定都市で採用され、もしくは定員となっている公務員。国などから出向し、現在各自治体の定員に含まれている公務員は調査対象となる。なお、各自治体の職員でも、教職員（園長）は本調査の対象外。

※ 本調査での管理職とは、本庁における課長相当職以上の役職を指す。出先機関の管理職については、本庁の課長相当職以上に該当する役職のみを管理職として計上する。

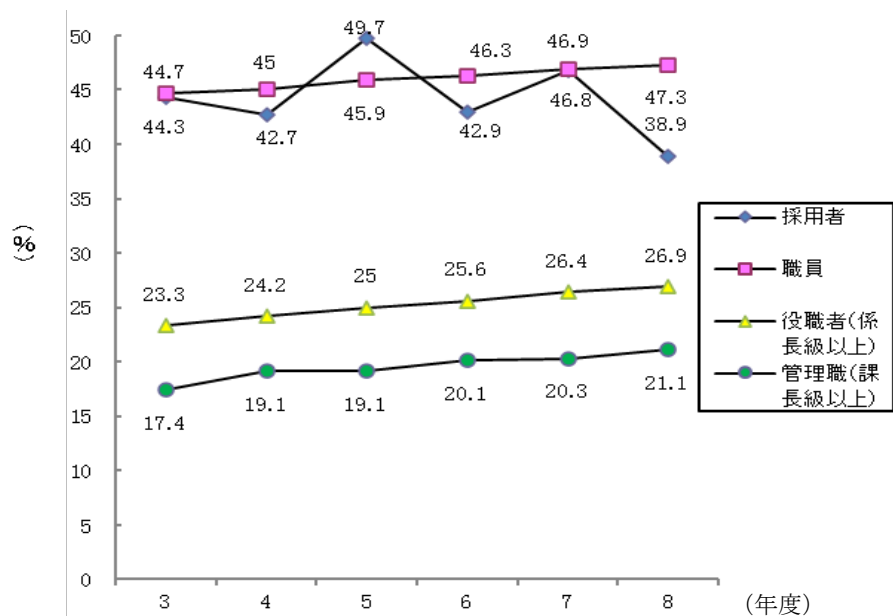
地方議会の女性議員比率：令和6年12月31日現在の数値。

審議会等の女性委員比率：調査時点は自治体により異なる。

資料：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和6年度）」

基本目標5 あらゆる意思決定過程に男女が共に参画する多様性に富んだ社会

○福岡市職員における女性の割合の推移



資料：総務企画局人事課

注1：採用者の数は、人事委員会が実施する採用試験（上級、中級及び初級）の一般行政職（ただし、学校事務、文化財専門職及び化学技術は除く）
注2：採用者の数は採用年度ベース。令和8年度については5月1日現在の数
注3：職員及び役職者、管理職の数は5月1日現在の数
注4：職員及び役職者、管理職には旧県費負担教職員を含む

○地域における諸団体の長への女性の参画状況

(各年7月1日現在)

団体名	年度					令和8年度		
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	総数(人)	女性数(人)	女性の割合(%)
自治協議会（※）	7.3	6.0	8.6	7.9	8.6	152	15	9.9
公民館長	31.1	29.9	31.8	31.8	32.7	150	52	34.7
青少年育成連合会（※）	29.8	31.3	35.1	35.8	34.7	150	49	32.7
交通安全推進委員会（※）	8.7	8.7	9.4	7.7	8.0	150	10	6.7
体育振興会（※）	6.0	5.3	7.3	7.2	7.9	152	10	6.6
環境活動連絡会議（※）	19.7	19.7	22.3	24.4	24.2	153	36	23.5
人権尊重推進協議会（※）	18.4	21.9	22.8	25.3	26.0	146	37	25.3
社会福祉協議会	40.1	40.8	38.8	37.8	37.2	153	59	38.6
老人クラブ連合会	10.6	11.2	13.7	17.5	17.6	119	22	18.5
子ども会育成連合会	47.6	49.3	42.6	43.8	37.3	55	22	40.0
市立小学校PTA	10.5	14.7	13.1	15.7	18.1	135	21	15.6
市立中学校PTA	7.2	7.2	7.2	7.2	11.8	69	11	15.9
地区民生委員・児童委員協議会	71.2	73.0	73.9	74.8	74.8	112	85	75.9
合計	22.6	23.4	24.2	24.9	25.1	1,696	429	25.3
（参考）男女共同参画協議会	86.7	85.9	86.6	86.7	86.6	145	120	82.8

※団体の名称は各校区により異なるため、一般的に使用されている名称を記載している
資料：市民局男女共同参画課

